

東西軸バス路線（豊中東西線）の利用状況

参考資料2

1. 豊中東西線利用状況

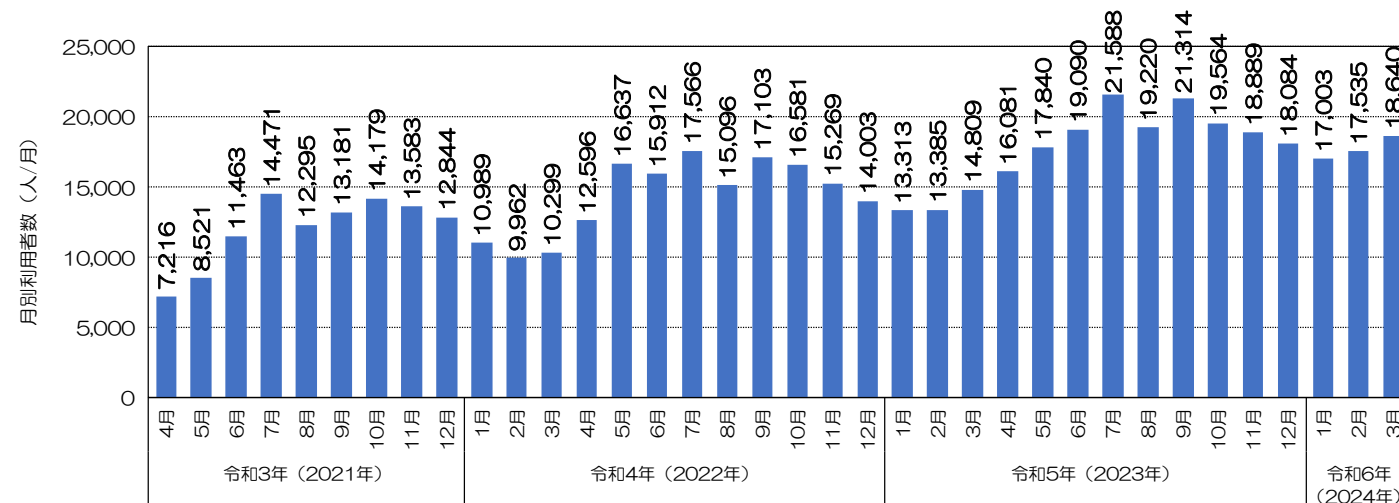
1.1 概要

- 令和3年（2021年）4月から運行開始した豊中東西線の利用状況を把握するために、交通系ICカードによる利用実績（※阪急バスよりデータ提供）をもとに、利用状況をとりまとめました。

1.2 利用者数（令和3年（2021年）4月～令和6年（2024年）3月まで）

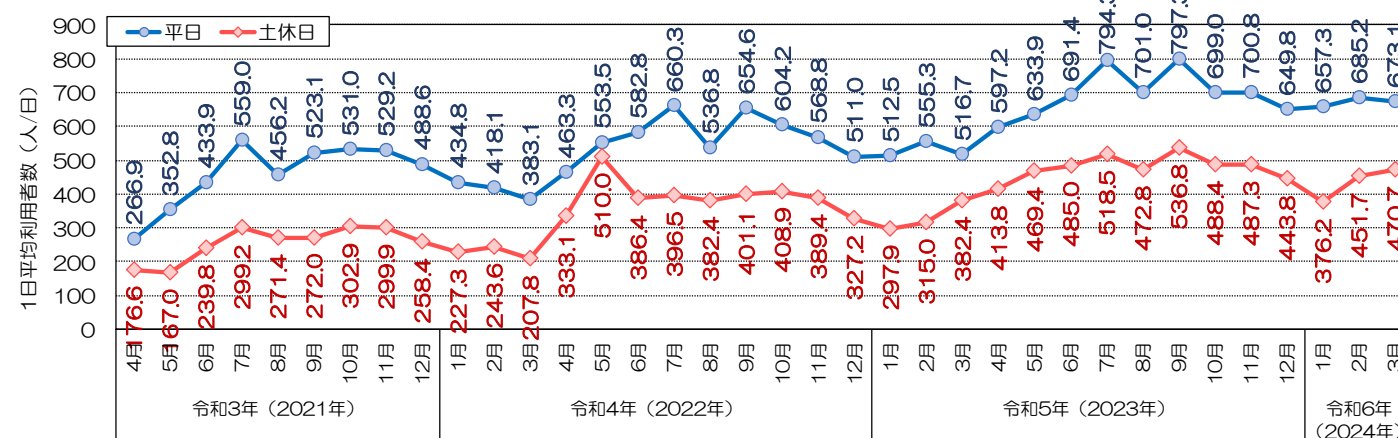
(1) 月別利用者数

- 運行開始した令和3年（2021年）4月は7,216人/月でしたが、令和4年（2022年）4月及び令和5年（2023年）4月のダイヤ改正以降、増加傾向にあり、令和6年（2024年）3月は18,640/月と約2.6倍に増加しています。



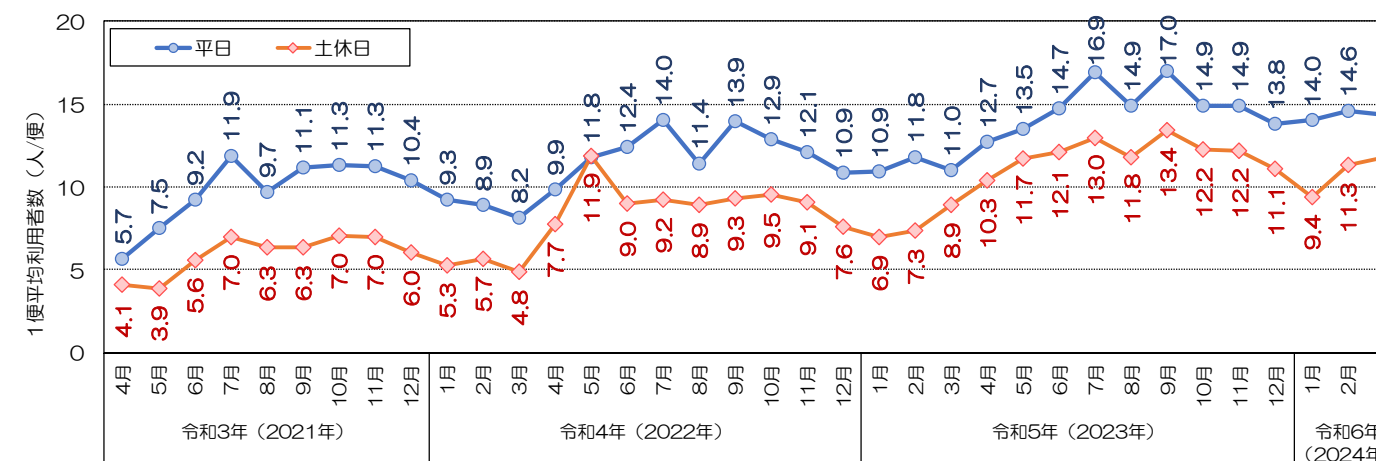
(2) 1日平均利用者数

- 令和3年（2021年）4月は平日が約267人/日、土休日が約177人/日でしたが、令和6年（2024年）3月は平日が約673人/日と約2.5倍に増加、土休日が約471人/日と約2.7倍に増加しています。
- 土休日の1日平均利用者数は、令和5年（2023年）4月のダイヤ改正以降、増加傾向にあります。



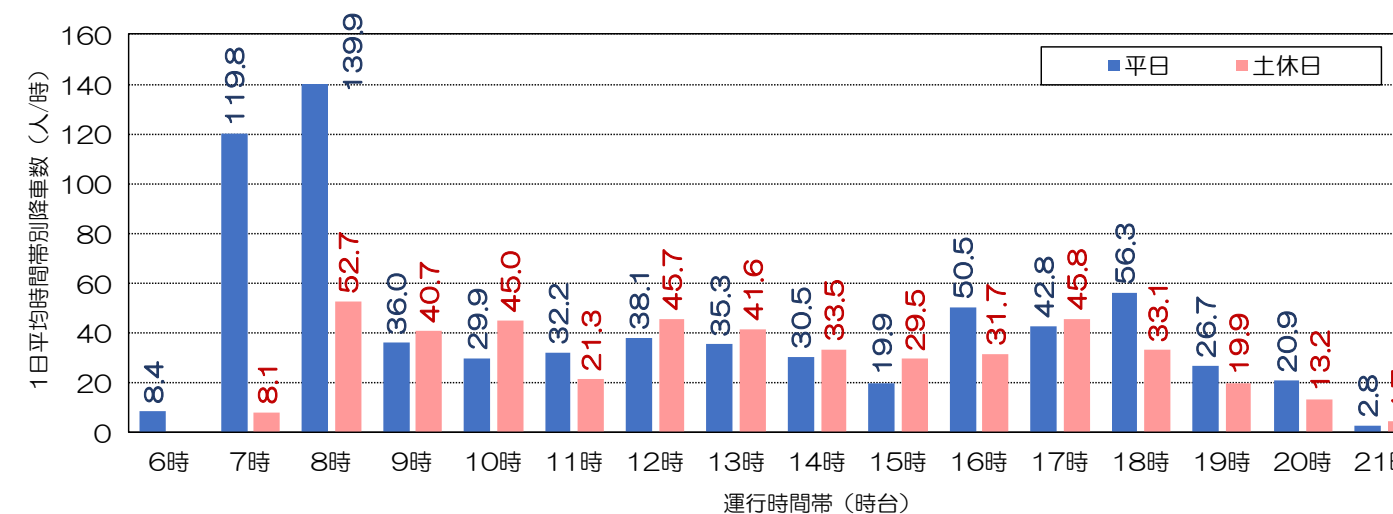
(3) 1便平均利用者数

- 令和3年（2021年）4月は平日が約5.7人/便、土休日が約4.1人/便でしたが、令和6年（2024年）3月は平日が約14.3人/便と約2.5倍に増加、土休日が約11.8人/便と約2.9倍に増加しています。
- 土休日の1便平均利用者数は、令和5年（2023年）4月のダイヤ改正以降、増加傾向にあります。



(4) 利用時間帯（降車時間帯）（令和5年度（2023年度）の1日平均）

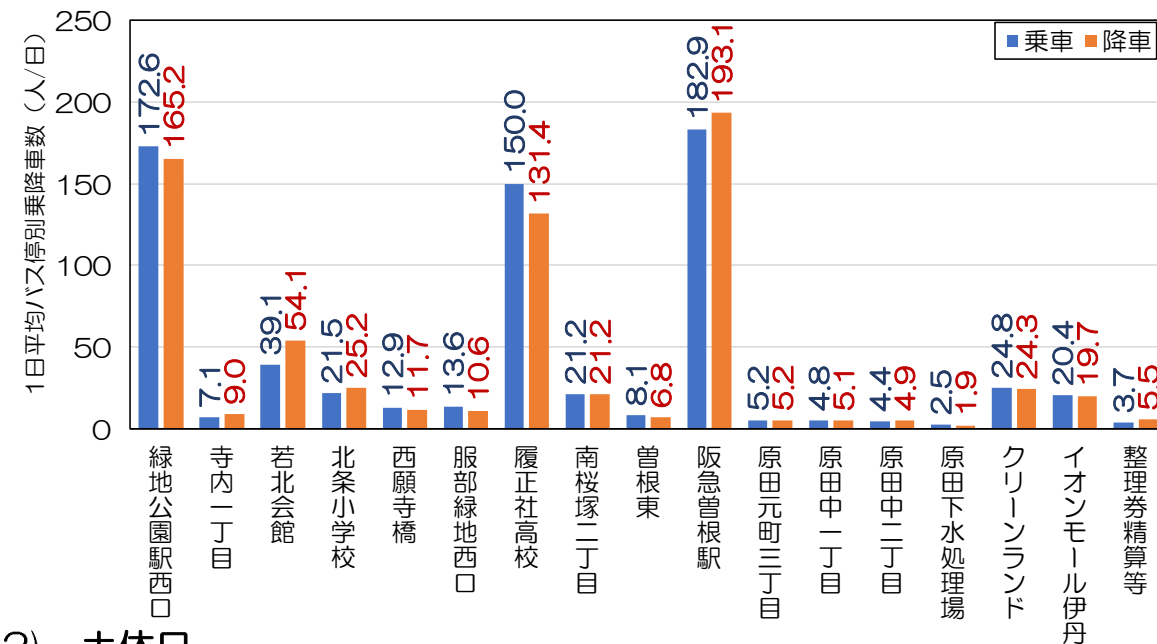
- 令和5年度（2023年度）における1日平均降車時間帯別利用者数（降車時に交通系ICカードで支払いをした時間帯）を見ると、平日は「8時台」が最も多く、次いで「7時台」、「18時台」、「16時台」の順です。
- 土休日は「8時台」が最も多く、次いで「17時台」、「12時台」、「10時台」の順です。
- 平日は朝の通勤・通学時間帯に利用者が集中しており、土休日は平日と比べて大きなピークは見受けられません。



1.3 停留所別乗降者数（令和5年度（2023年度）の1日平均）

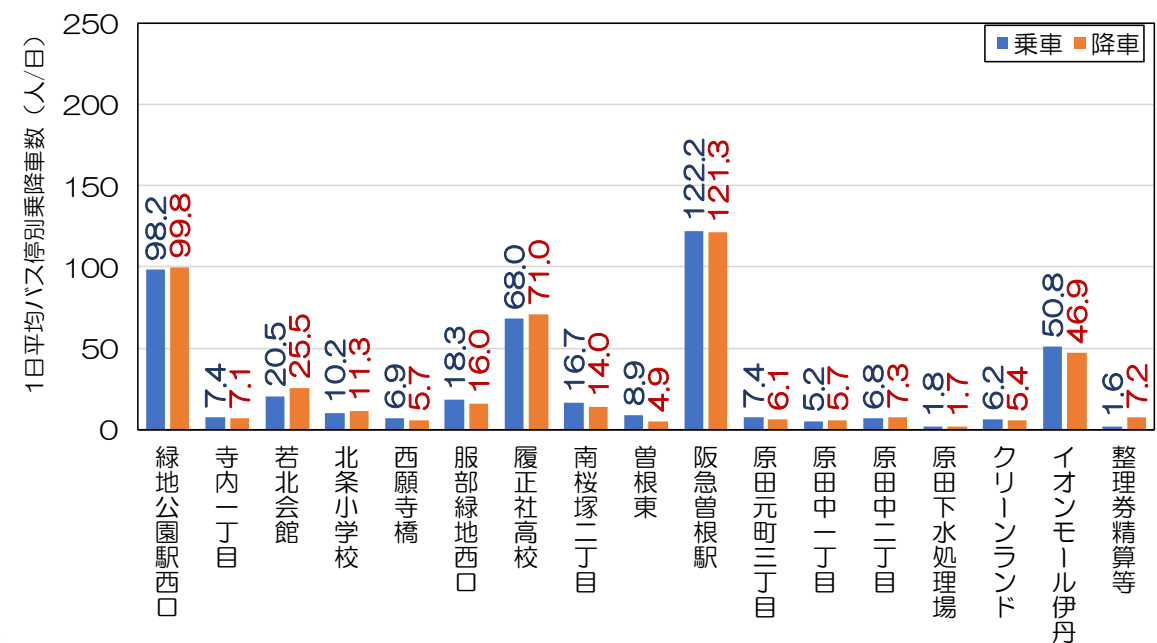
(1) 平日

- 令和5年度（2023年度）における1日平均停留所別乗降者数を見ると、平日の乗車は「阪急曽根駅」が約183人/日で最も多く、次いで「緑地公園駅西口」が約173人/日、「履正社高校」が約150人/日、「若北会館」が39人/日の順です。
- 降車は「阪急曽根駅」が約193人/日で最も多く、次いで「緑地公園駅西口」が約165人/日、「履正社高校」が131人/日、「若北会館」が約54人/日の順です。



(2) 土休日

- 土休日の乗車は「阪急曽根駅」が約122人/日で最も多く、次いで「緑地公園駅西口」が約98人/日、「履正社高校」が約68人/日、「イオンモール伊丹」が約51人/日の順です。
- 降車は「阪急曽根駅」が約121人/日で最も多く、次いで「緑地公園駅西口」が約100人/日、「履正社高校」が約71人/日、「イオンモール伊丹」が約47人/日の順です。



※整理券精算等：乗車口に設置しているカードリーダーに交通系ICカードをタッチされていない状態で乗車し、降車時に交通系ICカードで清算した場合を示す。

【豊中東西線の路線図】

